

木オだよソ

社会福祉法人 東香会
しぜんの国保育園 small village

Mar 2023



法人理念

いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

3月主題 ふくらむ心に 夢の花

自宅のレコードプレイヤーの針についたホコリをそっと取ったときに、あれ、何かに似ているなと思いました。なんだっけ、と考えていると、息子が新生児のときに握っていた手のホコリをきれいにする感覚と似ているのでした。(あんなに赤ちゃんの掌にホコリがついているなんて知りませんでした)

ふとした時にそんな記憶が顔を出します。不思議なものです。しかも本当にささやかな、小さな、小さな話。

ベビーダノンの容器の小ささ、何度も変えた離乳食のスプーン、夕飯前にお腹がすいてコンビニで買った「からあげクン」の味、小学校の入学式よりも先に、学童に向かう4月1日の子どもの背中。

「私、ちゃんと親になれているのかな」と思いながら手をつなぎ帰った保育園の帰り道。沈丁花の蕾が、春の訪れをほのかに感じさせてくれるこの季節。四季のうつろいに心を寄せながら、3月を迎えます。

園長 齋藤美和



3月の予定

かえで自然体験
ひなまつり誕生会
けやき組遠足
避難訓練
卒園式
けやき組を囲む会

おしらせ と おねがい

○しぜん谷の村まつりへのご参加、アンケートをありがとうございます。本日でアンケートを締め切りとさせていただきます。

○第44回卒園式を行います。けやき組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。
仲の良いけやき組。残り1ヶ月、しぜんの国で楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

○3月下旬より、進級へ向けての移行期間に入ります。
詳細は各学年ごとのおたより、園内ボード掲示等で随時お伝えしていきますが、新年度へ向け無理なく移行できるよう暮らしを整えていきますが、ご不明な点などございましたらいつでも担任までお声掛けください。
※移行に関するお知らせはクラスだよりや日々の掲示板でご確認をお願いします。

○新年度 年間予定表についてはまた後日配布いたしますが、4月の予定だけ先にお知らせ致します。

入園式 花まつり 誕生会
避難訓練 村の保護者会

じむしょ 小窓 だより

"けやきさん"、この言葉をこの時期は特に聞くように感じます。

先日、自然体験活動で焚き火を囲み、飯盒炊爨をけやきさんと楽しみました。2回目ということもあり、薪を拾い、場を整える、火をつけるという流れが身についている様子。その日は少し風が強く、火も大きく揺れ、子どもたちの高揚感が映し出されているように感じました。火と子どもたちの気持ちが落ち着いてきた頃、

Hさん 「"けやきさん"って楽しいね」
Rくん 「"けやきさん"って特別だよ」
わたし 「楽しいことができるって幸せだよ」
Fくん 「でももうすぐ小学校に行くんだよ」
Hさん 「もう3月だからね」
(少しの沈黙、、、)
Rくん 「まだ3月があるじゃん！」

その言葉に全員と目が合い、心の中でそうだねと気持ちが重なった瞬間。一人ひとりの想う気持ちがこの時は自然とこぼれてきました。なんだか伝えたくなる、ぽつりぽつりと話をしたくなる、聞きたくなる、その時間が私にとっても心地よく感じました。

けやきさんと話をしたい、一緒にいたい、その瞬間は、日々の暮らしの中でもいたるところで見られています。廊下でゴロゴロするけやきさんと4歳。ランチからの帰り道、コップを持って歩いていくけやきさんと8歳。他愛のない会話をしていたり、時にははぶつかることも、、、常にけやきさんという歯車が、園全体を優しく明るく包み込んで、動かしてくれているように思います。その姿に憧れを持ち、「早くけやきさんになりたい」と話す子どもたちの姿もこの時期はとても多いです。気持ちを伝え合い、関係性が出来てきたこの時期ならではの姿だと感じます。

この1ヶ月に想いを巡らせ、感じ取り、次へと繋がっていく時間を大切に過ごしていきたいです。また揺れ動く時期でもあったり、、その気持ちをみんなで分かち合っていけたらいいなあとお窓から、時には小窓を越えて感じる日々です。お月、まだ3月、、、。

マネージャー 柳澤 祐希

こども 村インタビュー

もうすぐ
ひなまつり編

S 「おひなさまきれいだよね」

T 「Tちゃんの家にもあるよ」

「TちゃんとAちゃんとTMちゃんをつつくん」

S 「私のは押入れの奥にあるから出すのが大変なんだよね」

保育者「私もまだ飾れていないなあ、、出すの悩むなあ」

T 「じゃあ、パーティーだけすればいいんじゃない」

S 「綺麗な洋服きたらかわいくなるんじゃない」

SK「ひなまつりパーティーだね」

※保育園でも雛人形と美しい打掛をホールに飾っているので、ぜひご覧くださいね。

保育者 リレー エッセイ

1年間バトンを繋いできたリレーエッセイもいよいよ最終回となりました。
第12回目の担当はすみれ組担任の高原潤さんです。

【軽やかな声で子どもたちと歌ったり、鬼ごっこで思い切り走ったり、いつも全力で子どもとの時間を楽しんで過ごしている潤さん。サッカーが好きなことは知っているのですが、今年、新たに増やしたい好きなことや挑戦したいと思っていることはありますか？

熊沢さん、今年度最後のバトンありがとうございます！昨年はギターを始め、まだまだ練習が必要ではありますが、子どもたちと楽しく歌う日々によりやりがいを感じ、挑戦してよかったな...と実感しているところでした。今回は、僕が今年新たに増やしたい好きなこと、挑戦したいことについて話したいと思います。

今年度すみれ組で過ごしている中で、サッカー、ギターの他にこっそり力を入れていたものがあります。それはズバリ..."写真"です！園での暮らしで子どもが1番輝いている姿を保護者の方に見て頂きたいという思いで写真を撮っているのですが、その瞬間を捉えることが難しい...そう思いながら1日に撮る写真は次第に増えていき、気づいたら200枚にも及ぶ写真を撮っていた日もあります。そして何よりも楽しいと思える瞬間が、最高の1枚を子どもたちと周りの大人と一緒に分かち合えること。写っている自分の姿を見ながら「いいね」と笑顔を浮かべる子ども、「いい写真ですね」と感想をくれる周りの大人の存在が僕の"もっと撮りたい"という欲を掻き立ててくれています。

先月、久しぶりに兄と食事をしながら写真の話題になりました。実は僕の兄も趣味でカメラをしているようで"兄弟だなあ〜"と感じながら園での様子を話していると、「もう使わなくなって余ってるカメラあげよっか？」と一声。僕は迷わず「ほしい！」と応えました。お兄さん万歳です。

そんなこんなで今年はいよいよいいカメラでよりいい写真を撮りたいと思っています！

どんな表情が取れるかなあ...一人旅するのも好きだからカメラを片手に景色をたくさん撮りたいなあ...とすでに想いを膨らませている私です。

かみじま のんびり 漫画劇場

「しぜん谷の村まつりにて」

文・絵 かみじま たるひ

